

事務事業名		成人大学講座事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目			
	施策名	25 生涯学習の推進							
	基本事業名	02 市民の学習活動への支援							
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和 60年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 <b>【計画期間】</b> 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		会計 01 款 10 項 05 目 04 事業 11			
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課							
	係名	中央公民館	電話 26-3166 内線 432						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・中央公民館・図書館・博物館が連携し、市民の学習要求に応じて、専門的分野に関する多様な学習機会を提供し、成人の資質・教養・文化の向上を図るもの。年9回程度の講座を実施している。 ・業務の主な手順は、①三館で学習計画を立案、②講師の依頼、③市民への周知、④学習の実施、⑤学習アンケートの依頼、⑥学習アンケートの集約・分析、⑦事業の成果や課題をまとめ、次年度に向け検討する。				全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
				総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		
								都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
						事業費計(A)	0		
				人件費	正規職員従事人数				
						延べ業務時間			
						人件費計(B)	0		
						トータルコスト(A)+(B)	0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 東日本大震災による事業の見直しにより、7月から9月に全6回(各館2回)に実施回数を縮減して実施した。  今年度計画(今年度に計画している主な活動) 昨年同様事業の見直しにより、7月から9月に全6回(各館2回)に実施回数を縮減して実施する。		名称	単位
		ア 講座の回数	回
		イ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 20歳以上の市民		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		カ 成人市民数	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・市民の学習要求を充足させる。 ・学習活動を通じて身につけた知識や経験を活かしてもらう。 ・生涯にわたって学習活動を続けることの大切さを知ってもらう。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		サ 講座の受講者数	人
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・学習意欲の啓発・向上につながる。 ・自主的に学習活動に取り組もうとする意識が高まる。 ・学習成果が社会生活に反映される。		シ 講座の年間延べ受講人数	人
		ス 成人の成人大学講座への受講率	%

(2) 総事業費・指標等の推移								
		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	財源内訳	単位					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円		132	195	195	195
		地方債	千円					
		その他	千円					
	一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	0	132	195	195	195	195
	人件費	正規職員従事人数	人	0	3	3	3	3
	延べ業務時間	時間	0	250	250	250	250	250
	人件費計(B)	千円	0	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	1,132	1,195	1,195	1,195	1,195	
⑤ 活動指標	ア	回	—	6	6	6	6	
	イ							
	ウ							
⑥ 対象指標	カ	人	—	32929	34000	34000	34000	
	キ							
	ク							
⑦ 成果指標	サ	人	—	89	100	100	100	
	シ	人	—	321	320	320	320	
	ス	%	—	0.60	0.37	0.37	0.37	

事務事業ID	0869	事務事業名	成人大学講座事業
--------	------	-------	----------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	多様化する市民の学習要求と生涯学習時代に即応した専門的かつ高度な学習を提供することを目的として、昭和60年に第1回講座が開催された。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	近年、高齢化や核家族化が進むにつれ社会環境がおおきく変容してきており、講座における受講比率も高齢者の割合が年々高まっている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	参加者は学習意欲が高く、講義内容に対する要望は多様である。アンケートからは引き続き開催して欲しいという回答が多い。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 市民の学習要求に応じた多様な学習機会を提供し、市民への学習活動を支援することにより、社会性豊かな心を育むことができる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市民が、市内にいなから、気軽に専門的な学習を受けられる機会は他になく、学習活動の支援という点で講座の開設は不可欠である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 成人市民の学習要求に応じた専門的な分野の学習機会を提供する事業であり、対象、意図ともに適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 成人市民の希望する講義内容や講師の選定を工夫し、参加者を増加させる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 無料で専門的かつ高度な内容の講座を受ける機会が失われ、生涯学習の場を求める成人市民への支援にならない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 専門的で高度な内容の講座をシリーズ化した事業は他にない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費の大半は講師謝金が占めており、事業費が削減されれば、講師の選定や講義内容は限定的なものとなり、市民の学習ニーズに応えることは難しくなる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 隔年開催とすれば、人件費等は削減できると考えられるが、専門的な学習機会の提供の場が減り、成人の資質・教養・文化の向上に貢献できない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 現在は受講料等を徴収していないが、学習ノート代は受講者負担としてもよいと考えられる。

事務事業ID	0869	事務事業名	成人大学講座事業
--------	------	-------	----------

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	講座の運営について、特に変更の必要はないと考えているが、今後は各回の講義の質の向上(全体を通してまんべんなく高い出席率)に重点を置き、多数の受講生の参加を促していくことが必要。 東日本大震災により、事業の見直しを行い、開催回数を9回から6回に減らして事業を再開した。																					
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善 ) (上記方向性に対する具体的な内容) 昨年同様、事業全体を見直したため、講座の回数を減らして開催する。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																							

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	生涯学習課
-------	-------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	高齢者の参加が多いが、若年成人の参加を促す必要がある。																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 ) (上記方向性に対する具体的な内容) 高齢者の参加が増えており、若年の成人も参加するようなPRや工夫が必要である。	左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
---------------------